

道院合宿を振り返って①

合掌

8月22日(土)～24日(日)の2泊3日で、道院合宿を実施しました。昨年は、大阪の全国大会の時期と重なり実施できませんでしたので、2年ぶりとなります。みんな楽しみにしていたようです。

合宿の目的は、①少林寺拳法の教えの理解を深め、技術の向上を図る。②拳士同士の交流を深める。③少林寺拳法が出来ることに感謝し、一生懸命に修練に励む。です。二泊三日という日頃の修練とは異なり、長い時間、少林寺拳法の修練をします。普段はなかなかできないような修練も行います。今回、2日目はほとんど、運用法の修練でした。最後に運用法大会も行い、楽しみながら修練ができました。感想にも、その様なものが多くありました。

少林寺拳法は単なる武術ではありません。少林寺拳法の本質は「宗門の行・人づくりの道」ですから、技術と同時に「教え」も学びます。1回目の法話では、開祖宗道臣先生がどうして少林寺拳法を始めたのかという話から、日本が明治以降、どのような歴史を歩んできたかということ、戦争という側面から話しました。現代の情勢を知るためには歴史を正しく知る必要があります。正しい歴史とは何か。他国より、日本の歴史認識について様々なことが言われていますが、まずは、私たちが自ら歴史について学び、自分なりの正しい歴史認識を持たなければなりません。そのためには、やはり勉強することです。「しっかり勉強せいよ」という話でした。2回目の法話では、鎮魂行で唱えている中から「聖句」と「礼拝詞」について話しました。開祖は、人を育てるためには、達磨の伝えた正しい釈尊の教え以外にないと考え、金剛禪総本山少林寺を開山しましたが、釈尊の教えは、本当に素晴らしい教えです。ぜひ、もっと勉強してほしいと思います。人としての生き方が学べます。

今回、本山の本校武専に通っている幸手の小林さんにも「法話」をしてもらいました。「いやあ、私の話なんかいいです。」と言って始めは断られましたが、是非ともとお願いと、渋々引き受けてくれました。結果、とても良かったです。小林さんは、40代後半から少林寺拳法を始めました。修練では、人一倍汗を流していました。昨年還暦を迎えましたが、再雇用ということで、会社で働いていたそうです。その頃、本山から、定年退職をした拳士宛に、本校武専に入りませんかという勧誘のメールが来たそうです。仕事でなかなか思うようにいかないこともあり、思い切って入学することにしたということです。私はその話を聞いたとき、本当に驚きました。本山に行って修行するので、私たち少林寺拳法の拳士としては、それは素晴らしいことですが、やはり、遠く四国の地に、長期間赴くというのは、大きな決断を必要としますね。不安もあります。人は、いくつになっても、人生を諦めてはいけないのだと思いました。「もう年だから。」とか、「余生は平穩に。」なんて、自分の人生に幕を引く必要はないのです。開祖は「人間死ぬまで生きとるんだ。人生を諦めたらだめだ。」とよく言っておられたそうですが、その通りです。私たちはダーマの分霊たる自己の可能性を信じて、生きている限り、いくらでも変われるという自信を持ち、今この時を、精一杯に生きることが大切なのだということを、改めて感じさせられました。

日本テレビの24時間テレビで、大きな影絵を作成した「藤城清治」氏。90才になるそうですが、凄まじいエネルギーでしたね。「今までの作品の中で最高なものはどんなものですか。」という質問に、「私の最高の作品は、過去にはありません。これから作る作品が最高の作品です。」みたいなことを言っていたと思います。何歳になっても常に、未来の自分の可能性を信じて、創作活動を続けている生き方に感動しました。相田みつをさんの言葉にあります。「一生青春」です。私も47歳。まだまだですね。「年だから…」と勝手に自分に限界を作っちゃってはいけません。もっともっと頑張らねばと、小林さんの話から、大きな勇気をもらいました。

結手

連絡事項

1 9月の修練日について

9月は、これまで通り、月、水、金、専有道場での修練となります。なるべく時間に遅れないように集合ください。

2 達磨祭について

本年度、達磨祭を下記の通り予定しております。詳しくは近くになりましたら改めて連絡しますが、基本的に全員参加でお願いします。

(1)日 時 10月18日(日) 午前10時～午後4時

(2)場 所 専有道場

(3)内 容

達磨祭は、達磨大師の命日とされる10月5日またはその前後に举行します。祖師達磨大師を礼拝し、祖の命日にちなんで遺徳を偲ぶとともに、門信徒が一層「拳禅一如」の修行に精進することを達磨大師の前で誓う儀式です。

儀式の後、集団演練や演武会を行います。また、昼食をともにし、その後懇親会を行いますので、保護者の方にもお手伝い等お願いできればと思いますのでよろしくお願ひいたします。

3 日本武道館主催「地域指導者講習会」の参加について

再度確認事項です。

(1)日 時 11月15日(土)、16日(日) どちらか1日でも可。

午前9時～午後4時

(2)場 所 埼玉県立武道館

(3)持ち物 道着 帯 肩章 防具(胴) 昼食 飲み物